



えくにレディスクリニック 院長 江國先生

えくにレディス通信

vol.8

「フリースタイル出産」

記者：1年ぶりの「えくにレディス通信」ですが、宜しくお願
いいたします。さて「えくにレディスクリニック」はユニ
クな取り組みで知られていますが、今回は畳の上でお産を
するフリースタイル出産についてお伺いします。知人の助
産師に聞いたところ、フリースタイル出産を行っていると
ころは、まだ、少ないそうですね。フリースタイル出産を始
めたきっかけを教えてください。

院長：平成10年ごろにLDRという新しい出産スタイルが

流行りました。Lは陣痛、Dは出産、Rはルームの意味です。
それまでは陣痛が始まって入院すると陣痛室ですごし、出
産直前になると分娩台に移動して出産するのが当たり前で
したが、LDRでは同じ部屋で陣痛と出産を行います。ま
た、ベッドサイズが大きいため、ベッドの上で比較的自由
な姿勢で出産できるメリットもありました。私はもともと
分娩台のお産は妊婦さんに余計な負担をかけているのでは
ないかと思っていたので、自由な姿勢で出産できる点に魅
力を感じました。とはいえ所詮、ベッドの上での話です。
もっと自由にならないかと考えていて、畳の上を思いつき
ました。それから調べてみると既に畳の上での出産を行っ
ている施設があることがわかり、平成14年の開業時から始
めました。

記者：畳の上での出産を始めるにあたって不安はありませんでしたか？



畳空間によるバースコーナー。



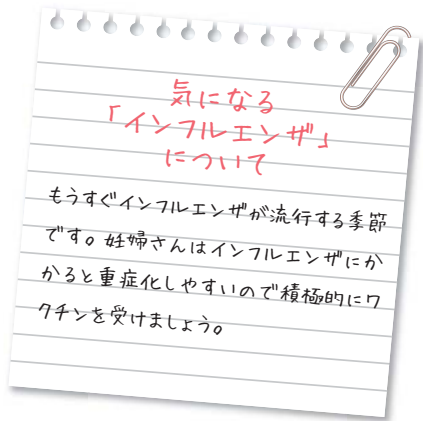
照明もうす明かりでお母さんがリラックスできる空間を用意しています。

院長：万一、事故でも起これば「畳の上で無理なお産をして
いるから」と言われかねないので安全性については大変気
を遣いました。現在まで3000例以上の分娩を扱いまし
たが、幸い、畳の上だからという事故は経験していません。
ただし、吸引分娩など特殊なケースは分娩台に移動して
らっしゃいます。分娩台が不要というわけではなく使い分け
することが重要と思っています。アメニティーを追求して
安全性がおろそかになっては本末転倒になってしまいま
す。

記者：えくにレディスクリニックで、畳の上での出産が上手
く行っている理由は何でしょう？

院長：それは助産師のおかげです。助産師は平均数時間、場
合によっては一晩中、妊婦さんに寄り添ってお世話をし
ています。畳の上でお産をするということは、ただ単に場所が
畳の上というだけでなく、助産師が妊婦さんを励ましな
がら一緒に出産することに大きな意味があると思いま
す。従来の分娩方法ではこのような助産師のかかわり方は
できません。

記者：それは妊婦さんも心強いですね。体が楽というだけで
はないですね。今日は貴重なお話を有難うございました。



気になる
「インフルエンザ」
について

もうすぐインフルエンザが流行する季節
です。妊婦さんはインフルエンザにか
かると重症化しやすいので積極的にワ
クチンを受けましょう。



えくにレディスクリニック ☎0774-95-9168

ekuni ladies clinic
〒619-0238

京都府相楽郡精華町精華台三丁目12-2

受付時間：月～土/9:00～12:00(火・金のみ17:00～19:30も対応)

えくにレディス



<http://ekuni-ladies.com/>

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
17:00～19:30	—	○	—	—	○	—	—



診療予約：当院にお持ちの方はホームページから、
初診の方は外来時間中にお電話でご予約下さい。